

花の里づくりの会

第5号会報2009年4月1日発行



松山神社の祭神は、^{ニギハヤヒノミコト}日本武尊で、明治47年村内の3社、荒神社・熊野社・皇大神宮の神が当社に合祀され増神になる。

口碑の伝えるに其の創立は、上古根古屋の庄、荷場の郷と云う水郷一帯の時代、景行天皇の御代40年、東国御平定の折、本武尊この地方を御通過され、^{ミコト}尊崩御の後、村民其の御徳を慕い奉りて祠を造り奉斎したと云う。

新編風土記稿によると、字三谷にあり、この辺を八朔ともいへり、石段7間程を登りて、社殿に至る。本社2間4方、拝殿3間に2間東向なり。云々とある。

明治6年村社に、大正9年神饗幣帛料共進社に指定される。大正11年震災にて全壊の社殿を新築、その後氏子崇敬者が尊崇の中心として、時代に伴い奉祀施設の建設維持するも、昭和63年社殿の増改装を行い、昨年合祀百周年記念事業として、境内地の拡張、社務所の改築等が行われた所であります。

新羽町は、俗に南新羽、北新羽と云う。当神社は、南新羽鎮守。北新羽松山神社の祭神は、^{オホニギハヤヒノミコト}大己貴命である。(三輪の神)

ごあいさつ

会員の皆様には、お元氣でご活躍の事とご推察申し上げます。
お蔭様で、会報も第五号を発行する事が出来ました。

恒例となっております、新羽小学校の卒業記念植樹の風景をはじめ、昨年から取り入れた新羽高校の生徒さんが植えたプランターの花々、その他、発足当初より植栽した品々も成長と共に立派な花を咲かせており、その一部を紹介させて頂きました。

又、今回植栽したものについては、事業実績をお目通しください。

これからも皆様のご意見ご要望をお聞きして、より充実した活動をしてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げ挨拶とさせていただきます。

花の里づくりの会 会長 中山 宏



20. 5. 8 懇親会開催風景

平成 20 年度の植栽及び事業実績

◆善教寺◆

ムクの木 2本、ネムの木2本、ハクウンボク 5本、ムラサキシキブ 2本
キキョウ(白 100 株、紫 100 株)、テッポウユリ 100 球

◆光明寺◆

ヒガンバナ(白 100 球、黄 100 球)、日本水仙 100 球、ラッパ水仙 100 球
沈丁花 8本、キツネのカミソリ 50 球、仏手柑 1本

◆西方寺◆

ツバキ 41本、ヒガンバナ(黄 900 球、白 1000 球)

◆杉山神社(南杉山神社、北杉山神社)◆

本オガタマ 2本

◆県立新羽高等学校◆

通学路の美化整備の花の苗の協力

マリーゴールド他 327 株、パンジー 220 株

◆市立新羽小卒業記念樹◆ 5組

キンモクセイ 2本

◆新羽駅周辺街づくり協議会◆

地区計画におけるポケットパークへの花の苗の協力

平成 21 年度の植栽及び事業予定

◆新羽駅周辺街づくり協議会◆

地区計画におけるポケットパークへの花の苗の協力：年2回

◆県立新羽高等学校◆

通学路の美化整備の花の苗の協力：年2回

◆市立新羽小卒業記念樹◆ 6組

2本

◆専念寺◆

境内整備が終わり次第モミジと桜を中心として植える

◆光明寺◆

ヤマブキ(白一重と黄白八重) 20本、梅 10本

◆杉山神社◆

必要があれば植える

◆西方寺◆

ツバキ他

◆善教寺◆

テッポウユリ 50 球、ユキヤナギ 10 株、ソシンロウバイ 10 本

◆その他◆

枯れた木などの捕植

新羽丘陵公園での卒業記念植樹



私たちがみんなで作ったキンモクセイの木は、地域の方々がいろいろなさってくださり、たおがけで、しっかり植えることができました。この木が立派に大きくなるのを楽しみに、いろいろな、がんばりたいと思えました。地域の方々が守っている新羽の町、新羽の自然もこれから私達も、守っていくように、守りたいです。

一組 佐々木 優果

キンモクセイと大きく書いた板もみんなが協力して植えた木につけた時、みんなの卒業の思い出を残す実行委員になってよかったです。思いました。地域の方々や植木屋さんに、みんなが植えたと言った木を準備してもらったので、私達はすごく思われているんだなと感じ、うれしくなりました。私達の成長と共に木も大きくなってほしいです。

一組 村田 優香

平成 21 年 3 月 5 日



僕は、記念植樹の日のために、木にかける
看板を作りました。看板を木にかけながら、
未来の事を少し考えました。僕達がいつか大
きくな、た時にもこの木を見に来た時にも元
気にこのキンモクセイがトルネード公園で待
っていてくれるとうれしいです。そうなの。た
らみんなで植樹をした日の事を思い出すこと
かできると思っています。そのためにも記念樹に
は長生きをしてもらいたいです。

二組 寺田 潤平

私たちは地域のみなさんの力を借りて、植
樹会を成功させることができました。記念樹
をみんなで作ることができて、すごく楽し
かったです。地域のみなさん、本当にありが
とうございました。この会は、一生の思い出
になったと思います。地域のみなさんがい
れば、こんな植樹はできませんでした。こ
れから中学生になっても、一生けん命に、何
事もまきらめずにがんばりたいので、どうぞ
よろしくお願いします。二組 石倉 大聖



キンモクセイ

新羽小学校長 渡部洋久

五年生の時、国語の時間に学習した「わらくつの中の神様」の作者、杉みき子さんは、雪の町越後高田町（現在は上越市）に住んで、物語を書いている。その、杉さんの作品「冬のおとずれ」に、次の文章がある。

「九月の末——家々のきんもくせいがいっせいに匂いはじめるころから、冬の予感がはじまる。それはいわば短かったまぶしい季節の最後のかげやきで、その高いかおりが長くはつづかず雨にちらされ、……………」

この文章を読むと、キンモクセイの強い花の匂いが、命燃える季節が終わるしるしのようにただようことを教えてくれる。卒業記念樹を植えた丘陵公園は、春から夏にかけて、太陽をたっぷりあびて、植物が勢いよく育つ、まさに命燃える場所だ。そこで、入学したての頃はよく遊ばせてもらった思い出の詰まった場所でもあるはず。

その丘陵公園に匂うキンモクセイの香りが、来年からは、季節の移ろいを教えてくれることになりそうだ。キンモクセイの香りが、今から待ち遠しい。

卒業記念植樹（H20年度）

この記念植樹が実施され今年で4回目になります。毎年のことながら地域の皆様の温かいお気持ちが子どもたちの成長の手助けになっていることを改めて思い深く感謝申し上げます。今年も子どもたちの手で植えられたキンモクセイ、秋口には良い香りをさせてくれることでしょうか。この花の香りを感じるたびに、新羽小で過ごした経験を思い出すきっかけとなり、緑を守る大切さを育んで行ってくれたならばと思います。

新羽小学校PTA会長 佐藤 健二



新羽丘陵公園に前に植えた卒業記念樹



平成19年3月に植樹した赤花エゴノキを、翌年の20年5月中旬に撮影。



平成20年3月に植樹したシデコブシの花が咲きました(同年3月23日)



新羽丘陵公園愛護会が、管理しているシバザクラ(平成19年4月3日)

県立新羽高等学校の通学路美化整備



花いっぱい！

県立新羽高等学校 副校長 伴 勝雄

本校の正門を右に出て坂を下ったところに三角状の飛び地があります。昨年度までは背の高い雑草が生い茂り、視界を遮るため、登下校の際にたいへん危険な場所でした。

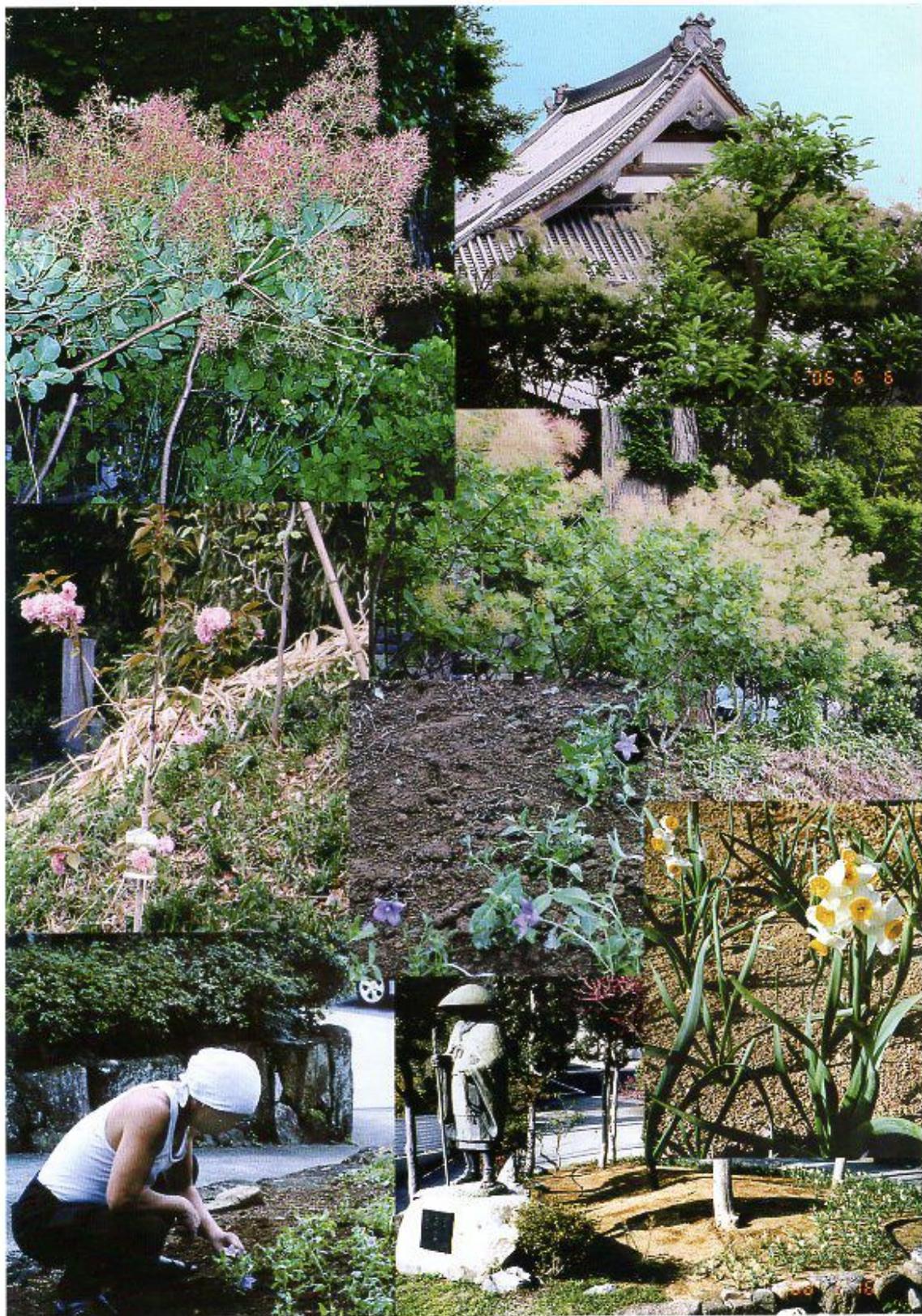
平成20年度、「花の里づくりの会」様から財政支援をいただき、二回の植栽活動を行いました。美化委員会の生徒をはじめ、ボランティアの生徒の協力を得て、七十余りのプランターで三角地を覆い花いっぱいになりました。

今回の植栽活動は地域の交通安全と環境美化のお役に立てたと同時に生徒のボランティア精神の育成にもなった事業でした。「花の里づくりの会」の皆様から感謝申し上げます。

光明寺



善教寺



西方寺



新羽町連合町内会長
新羽丘陵公園愛護会 会長 中山幹雄

新羽丘陵公園愛護会10年を顧みて

丘陵公園が開園し近隣の中之久保大竹中央の三町会で公園愛護会が結成され10年が経過しました。雑草刈りは冬期を除く毎月第一日曜日午前8時より正后まで町会有志学校関係者及び多くの協力者により楽しく行はれています。当初は農家のユンボで整地し初代実行委員長でありました中山義信氏が二年がかりで芝桜を植えて下さり春には毎年美しい花島が訪れる人の目を楽しませております。又学校と連携し竹林の観察竹細工竹炭作りさつま芋作り等の指導を行い子供達の体験学習の支援をしています。加えて「花の里づくりの会」のご支援に依り三年前より小学校卒業記念植樹を行い子供達に夢を与える事が出来ました。これらの功績が認められ公園愛護会が平成20年7月に中田横浜市長より表彰されました。協力して下さいた皆様に感謝申し上げます。

今後も行政の協力を得ながら益々施設を拡充し緑豊かな公園作りに頑張ってまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



本会の趣旨に賛同して参加いただける会員と新たな候補地としての寺社仏閣を、募集しております。ご希望の方はお申し出下さればご説明させていただきますので、会長宅までご連絡下さい。

花の里づくりの会 会報第五号 2009年4月発行

発行者 花の里づくりの会 会長 中山 宏

お問合せ先 045-541-5578 (事務局 中山宏 宅)